

# ECHIGO ICHIIE



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会

越後  
一会

Vol.  
26

2018.  
SUMMER

会長 挨拶・抱負  
事業計画と各担当委員会・各支部長紹介  
新入会員紹介・講習会案内





一般社団法人 新潟県建築士事務所協会  
会長 坂本 忠志

## 会長あいさつ

会員の皆様には常日頃、当協会事業に格別なご理解とご協力を頂き感謝を申し上げます。平成30年度定時総会も5月24日開催地新潟会場にて無事に全議案を承認頂きました。役員改選においては理事・監事が選出され、理事会を経て会長に坂本・副会長に松田(下越)、村田(中越)、橋詰(上越)及び支部長・各委員長を承認頂きました。身の引き締まる思いですが、今までの事業を今一度、検討・見直しをしながら、より一層の成果を残すべき努力する次第です。

「にいがた建築未来の担い手育成事業」の一環として中越支部の協力を頂き、長岡造形大の学生と設計事務所職員との座談会を昨年に引き続き9月中旬に行います。学生は自身の将来像を重ねながら建築士の体験談を期待しており、地元設計事務所の魅力も詮索しております。関連事業でもある「高校出前講座」も若手講師陣で6月後半から始まり4高校終了致しました。又、県内の設計事務所の皆様にインターンシップ・デュアルシステム制度にも多くの事業所に申込みを頂き、高校生12名を受け入れることができました。受け入れ事務所の皆様、ありがとうございました。

今年はスキルアップセミナーに新潟県林政課の補助を頂きながら木材の魅力を折り込んだ講座を開催いたします。多くの参加をお願い致します。中央の、(一社)日本建築士事務所協会連合会も6月26日定時総会が行われ全議案を承認され、役員改選に伴い新会長に佐々木栃木会会長が選任されスタート致しました。連合会と関連団体が国交省に要望していた業務報酬基準の見直し(告示15号)も、今年度中には実施に入る見込みです。また、建築士の高齢化により、今後建築士が激減することを危惧し、建築士会・建築家協会・建築士事務所協会の三会で建築士の資格制度の改善に関する共同提案をしているところです。法改正にあたるため、国会議員の理解を頂くべく、新潟でも自民党建築設計議員連盟に所属している議員に要望活動を終えたところでございます。資格制度の改正には細かな取り決めが伴ってまいります。早めの成立を望むところでございます。連合会の事業要請に合わせ単位会の充実に努める次第ですので、皆様方のご協力をお願い致します。

## 平成30年度 事業計画と各担当委員会

### 【総務・財務委員会】

委員長 本間 裕之

県との意見交換はじめ、事務所協会全国大会への参加や建築士事務所と若手建築士の強化・育成などを担当することになります。これらの事業に微力ながら力を尽くしていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### 事業計画

- 実施事業全般の精査、検討
- 事務所協会全国大会参加の企画・運営
- 県との意見・情報交換の検討
- 事務所と協会の後継者育成強化の検討(次世代交流会)
- 建築士の後継者育成(大学生との座談会)
- 他団体との連携(士業連携による合同相談会)

### 【業務・技術委員会】

委員長 江部 健二

各種講習会の企画、高校生への出前講座の実施、スキルアップセミナーでは、今回は中大規模木造設計者養成講座にシフトしたいと考えております。他に、建築作品・新潟県賞の審査表彰もまいります。諸先輩のご指導、委員会の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

### 事業計画

- 建築士事務所の管理研修会の開催
- 建築士定期講習の開催
- スキルアップセミナーの開催
- その他講習会の企画・開催
- 建築士の後継者育成(高校生出前講座)
- 建築作品・新潟県賞の審査及び表彰

### 【広報・組織委員会】

委員長 鷲頭 加思郎

委員会メンバーと協力しながら、より協会の活動内容や会に属するメリットなどを、広報誌を通して会員メンバー伝えられるようにしていきたい。それにより、少しでもより積極的な協会活動への参画を促し、協会全体が盛り上がるように頑張っていきたいと思っております。

### 事業計画

- 会員拡大の活動(正会員・賛助会員)
- 協会活動のPR(広報誌の企画・発行)
- 建築キャンペーン事業の実施(リフォームフェアでの協会PRと住宅相談)
- 法改正等情報の公開(HP活用広報・事務局)

### 【指導委員会】

委員長 俵山 精一郎

住宅を巡る紛争の予防には、①瑕疵のある住宅を造らない②顧客への丁寧な説明③書面の作成を通じて明確な合意を図ることが重要です。設計と工事監理、施工管理との連携を第一と捉え、「建築士法第27条の5に係る苦情解決業務」に係わる未然防止に当たりたいです。

### 事業計画

- 住宅相談の対応
- リフォームフェアでの住宅相談の応援
- 住宅相談広報の検討(HP・パンフレットの作成)

### 【地震対応特別委員会】

委員長 梶井 照仁

地震に関する情報を収集し、地盤と建物の関係や耐震診断・補強改修に関する建物相談の応援をします。情報収集は「既存建築物耐震診断・改修等推進ネットワーク委員会」に参加して得たいと思っております。会員に情報発信し、協会全体が盛り上がるように頑張ります。

### 事業計画

- 住宅相談の対応
- 耐震診断、耐震改修に関する住宅相談の応援

## 受賞作品紹介 平成29年度 第26回建築作品・新潟県賞

## 最優秀賞

Another Rocket  
(株)高田建築設計事務所

## 優秀賞

ZERO 2 Reborn ~時代をつなぐ緑~  
(株)高田建築設計事務所

## 優秀賞

JA新潟厚生連 小千谷総合病院  
全農新潟一級建築士事務所  
(株)JA設計

## 優秀賞

隣保館保育園  
(株)創建築設計事務所連載エッセイ  
第9話 作/マツシマサトシ  
災害は  
建築を変える。

「西日本豪雨」は、広島、岡山、愛媛を中心に200人以上の死者を出す大災害になりました。日本は地震が多いため、大きな地震のたびに耐震基準が見直され、強い建築物が求められてきましたが、家が土石流に飲み込まれていく映像を見てみると、自然の猛威に、強さで対抗しようとするものの無力さを感じます。建築家の隈研吾さんは、東日本大震災のあと、自然の圧倒的な力の前では、強くて大きな建築よりも、小さくて柔らかな建築のほうが「強い」のではないかと考えるようになり、ブルーノ・タウト(1933年日本に亡命したドイツの建築家)が残した小物や「旧・日向別邸」を紹介しています。

建築物は、より快適に、より安全にあるために、風土に根ざして成長してきました。そしてまた、関東大震災をきっかけに建築の不燃化が課題になり、石造り建築が増えたように、災害は建築を変えていきます。西日本豪雨は被災地の建築をどのように変えていくのでしょうか。

## 各支部長紹介

下越支部長  
支部長 羽二生 道夫

下越支部長になりたくさんの行事を預かりその責任の重さを痛感しております。今年は、去年から準備を進めていました建築家「坂茂」講演会の開催にむけて力が入ります。ダンボール建築や木造の建築で様々な提案がなされ日本だけでなく世界でも特徴のある建物を設計され活躍されております。下越支部では中大規模の木造建築設計で実績のある坂茂様をお呼びして木造建築の発展の力となりますよう講演会の準備を進めております。

中越支部  
支部長 小野塚 志志

中越支部は地理的範囲が広い。限られた予算の範囲で、できるだけ、長岡、魚沼、三条、柏崎の各班に活動を分散して、元気に事務所運営をしていることを確認し、地域交流ができるように工夫しています。また、それぞれの地域の風、建築、郷土料理を楽しめるのも良いものだと思います。お互いに知恵を出し合って、地域の建築文化、産業に関わり合って、元気な建築士事務所としての誇りとリーダーシップを発揮していただきたいと思ひます。

上越支部  
支部長 植木 厚祐

本年度より上越支部長をお預かりさせて頂いております(株)上越建築設計事務所の植木です。上越支部は、昨年までと同様に、技術研修会や研修旅行を通じて、建築技術や建築物への見識を深め、会員の質の向上を図ると共に、納涼会や支部ゴルフコンペを通じて、同志会の皆様との更なる交流を図り、上越地域の建築業界全体を盛り上げていけるような事業を実施して参ります。今後共、ご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

## 出前講座/新潟工業高等学校 ●7月10日



7月10日火曜日に、新潟工業高等学校の建築科建築コース、建築科建築設備コースの2年生46名を対象に出前講座を開催しました。各講座とも休憩をはさみながら50分づつ、計2時間に渡って講座を行ないました。

第一部は羽二生支部長より「建築の世界へ」と題して、自身の取材による世界の建築5題、日本の建築3題を写真による解説で説明を行いました。雑誌などで紹介されている写真や記事と違って、本人が見て感じた生々しい説明が生徒たちには好評でした。



第二部は小林理恵子氏による「空間デザイン」と題して、自身の作品を通して講座が設けられました。施主との関係性や設計思想等を語り、学生に語りかける座学のような講座の進めかたでした。生徒たちが飽きないように声を掛け合う中では、生徒たちからも笑いが起き、アットホームな雰囲気でした。最後にBIMの説明を行ったところ、パソコンの画面を覗き込む興味をもつ生徒が多かったです。この講座に参加した生徒たちが将来建築に関わる仕事、特に設計の道に進むことを期待したいです。

(広報・組織委員会/中村文彦)

## 講習会等インフォメーション

日程	項目	会場
平成30年 9月26日(水)	建築士定期講習(新潟)	新潟ユニゾンプラザ
9月28日(金)	建築士定期講習(長岡)	アトリウム長岡
10月5日(金)	建築士事務所全国大会(東京大会)	帝国ホテル
10月30日(火)	建築士事務所の管理研修会(長岡)	アトリウム長岡
10月31日(水)	建築士事務所の管理研修会(新潟)	新潟テルサ
11月22日(木)	第4回 理事会	ラマダホテル新潟
12月7日(金)	既存住宅状況調査技術者講習(新規講習)	白山ビル7階 会議室
平成31年 1月7日(月)	建築四団体 新春賀詞交歓会	白山会館

## 新入会員のご紹介

### 正会員

8月末日現在の会員数/正会員 312名・賛助会員191名

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
M構造室	三上 貴司	新潟市西区小針2-17-17 クローバーKEN A号	025-211-8054	025-211-8054
S C設計	星井 栄吉	阿賀野市山崎370	0250-63-1855	0250-63-9831
(株)キタック 一級建築士事務所	中山 正子	新潟市中央区新光町10-2	025-281-1111	025-281-0001
(株)上新技建二級建築士事務所	杉山 高男	上越市栄町7-5	025-520-9007	025-520-9008

### 賛助会員

事業所名	代表者	住所	TEL	FAX
(株)ナガワ 新潟営業所	田島 基彦	新潟市中央区女池神明3-1-1	025-281-7071	025-281-7075
エスケー化研(株)新潟営業所	坂井 雅義	新潟市中央区女池2-8-14	025-285-6551	025-285-6552
(株)コロナ 新潟東営業所	佐々木 重光	新潟市東区江南1-6-41	025-286-9131	025-286-3313

## 賛助会員 協力・支援組織挨拶

### 下越支部 建築文化研究会 会長 高田 政俊

新潟建築文化研究会は、会員相互の研鑽の為の研修会、セミナー及び製品説明会や展示発表会など提案し実施しています。今後は、新たな時代に対応した下越支部、さらには県本部の事業に積極的に協力し、事務所協会とともに大きく羽ばたいて行きたいと思っております。



### 中越支部 協議会 会長 池田 明彦

引続き中越支部の会長をさせていただきます。賛助会員として、いかに本会の発展に協力していくことができるかを、坂本会長から永遠のテーマとして考えてほしい旨のお言葉をいただいておりますので、常にそのテーマを頭にインプットしながら、会員一人一人がアイデアを出し合いながら、本会の発展に協力できるように活動をしていきたいと思っております。

### 上越支部 上越同志会 会長 江口 武

昨年度に引続き会長を引受させていただきました。本年度も地元上越の仕事を上越の企業でやり遂げる。この精神で会員同士の情報交換を密に行い、親睦を深め、そして技術向上への努力を惜しまず、より良い仕事をさせて頂きたいと思っております。深刻な人材不足が取沙汰されておる昨今で、この業界において如何に若者が興味を持って頂けるかという面でも真剣に動く一年にしたい所存です。どうぞよろしくお願い致します。

### あとがき

今年の夏は、西日本の大雨被害、猛暑・酷暑、異例の進路を辿る台風など、今までに経験したことのない異例づくしの自然の猛威が、列島全体に大きな爪痕を残しました。被災された方へは、心からお見舞い申し上げます。

さて、新年度となり役員改選が行われ、新体制による活動がスタートしました。私自身、委員長職を仰せつかり、戸惑いながらもメンバーの協力の中、委員会としての担いを果たしていこうと思っております。これからも、会員の皆様にとって、有意義な情報を発信していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

広報・組織委員長 鷲頭 加思郎

## ECHIGO ICHIE

2018.SUMMER Vol.26



表紙写真  
ジュンサイ採り/清里村

発行：平成30年8月

発行所：一般社団法人 新潟県建築士事務所協会  
会長 坂本 忠志

編集：編集委員

委員長 鷲頭 加思郎

副委員長 石渡 光輔

副委員長 松木 淳一

委員 中村 文彦

小林 敏徳

担当副会長 村田 建志



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会

〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目614番地 白山ビル6F

TEL 025(265)4748 FAX 025(231)6553

URL <http://www.niaaf.or.jp/>

E-mail [kjk1523@niaaf.or.jp](mailto:kjk1523@niaaf.or.jp)